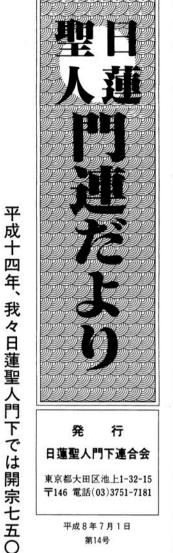
法華宗陣門流宗務総長 牧野



行 発 日蓮聖人門下連合会

東京都大田区池上1-32-15 〒146 電話(03)3751-7181

> 平成8年7月1日 第14号

来る平成十四年は日蓮大聖人開宗 様 々 9 え 違を

クリアーしてから、と云う意味から 同じであると考えます。 御報恩の意志はあってもその前に行 考して居りましたし、この思いは門 うべきことが山積して居り、それを その対応も又いろいろであると考え 史・教義・規模等々に相違があり、 ト連合会加盟の各宗御当局の方々も に御報恩の誠を捧げねばならぬと思 より熟知し、それに対して、大聖人 七五〇年に相当することは、数年前 つずつ解決して行くべく、宗門自 しかし各宗夫々に、その創立・歴 吾が陣門流におきましても、

> 迫った、総本山本成寺開創七〇〇年 を実施円成させるかに腐心して居り を如何にしてその大法要記念事業等 現在当面して居る問題は、明年に

組織し、門末寺院一体となって、 する総本山の整備充実に力を注 報恩にも通ずると考え、根本道場と 対する御報恩は、大聖人に対する御 共に三師と称する先師のお一人) 印上人(吾が宗で日朗・日陣上人と の基本となり推進の母体となる募金 して居ります。総本山開創の先師日 に、調査に、研究に、啓蒙にと活動 数年前より開創七○○年奉讃会を いで



東京別院本妙寺

幸いにも吾が宗は関西地区に寺院が 施中に昨年の阪神大震災が起こり、 少ではありましたが、募金の勧募、 少ない為、その被害は他宗に較べ僅 被災寺院の援護等々、相当の影響を しかし開創七○○年関連事業を実

指示がありましたが、現在それ等も

克服し、着々と完成に向って進んで

化財に指定され、今回の目玉であっ

時あたかも総本山の山門が県の文

たその修復工事にいろいろと面倒な

蒙りました。

居ります。

爼板岩海中調査(伊東霊跡別院蓮着寺)

教育・指導を

致して居ります。

速増殖炉もんじゅ事件、HIV

部のオウム教の被告たち、高

◆麻原彰晃をはじめとする

ることが急務なのかも知れな かない人間作りをアッピールす

様、宗門当局においても折にふれて

物と人の二面からも信頼を得られる が中に居る僧侶も立派だ、と人々に 立も肝要と存じ、建物も整っている

そのより所としての寺院の整備確

対する御報恩ではないでしようか。 精進して行くことが、真の大聖人に 昼夜の別なく、 光明を輝やかすべく、心を合わせて 燈を絶やすことなく、ますますその 信徒の方々の御苦労を偲び、その法 通した先輩各 信仰を幾多の という長い年月、寺院を、教えを、 忌は終わりましたが、この七○○年 宗も七五〇年、 それがなければどんな立派な記念 吾々の総本山も七〇〇年、立教開 聖、幾世代にもわたる 苦難を乗り越えて守り 大勇猛心を以て尽力 大聖人の七〇〇御遠

ばかりである。◆我が胸に手を

題はウソで固めた話ばかりであ 答弁、どれをとっても最近の話 ビデオ」問題、住専国会参考人 薬害エイズ訴訟、TBS「坂本

ウソの上塗りは心痛むこと

立案し実行し せるべく立教開宗七五〇年の計画を 法の理念を植え、真の信仰心を持た 全ての人々 して行く覚悟でありま に、一天四海 皆帰妙 ないものとなってしまいます。 事業も、絵に画いた餅であり、心の

い入れるために仮に設けた教え だて)であり、真実の教法に誘 という言葉もある。〈方便〉とは、 けない。◆俗には「嘘も方便」

衆生を教え導く巧みな手段(手

は、

決してその轍を踏んではい

信者に、同信の信徒誘引にと、

心を強盛なものに、未信者を篤 あてて考えてみるに、稀薄な信

布教教化活動に従事する私ども

であって、一般には目的のため

理事 長就任 連合会理事長水井祥文 御挨拶

会の運営発展に微力を傾注いたす 御推薦を得、理事長の重責を負う 所存であります。 こととなりました。今後門下連合 今般門下連合会理事会の

会の連絡、 現の為、祖廟を中心として門下各 派及び教団、並びに地方門下連合 門下連合会は大聖人の御理想実 協力、団結を強化する

この時代に爪の跡を残し祖恩報謝に勤めよう。

中である。後世のためにも、門下総力を上げて今

我々は何をなすべきか。各門流様々な企画が進行 年を迎える。ますます混迷する現代社会の中で、

ことを目的として組織されており

ことができますが、 り刊行されました『日蓮聖人門下連 合会30年の歩み』によって窺知する れる事と存じます。 る御活動の軌跡は永く門下に記憶さ 過去の輝かしい歴史は先年本会よ 先師の熱血溢れ

特に日蓮聖人七〇〇遠忌報恩記念

と拝察致します。 青年の船と、

改めて先師の きな励みであり、誇りであります。 合の下に奔出し、大きな成果を結 たいと願います。 共に手をたずさえて進んでまいり し、新たな門下連合の展開に向け、 を背負う私共にとりましても、大 実させた事実は、今日門下連合会 立教開宗七五〇年を目 睫にし、

点をもった意義深い事業であった ラトリオ日 事業は日蓮聖人劇、日蓮聖人展、 **蓮聖人、日蓮聖人門下** いずれも対外的な接

このようなエネルギーが門下連 御努力に思いをいた

ある。しかし、今こそウソをつ ているが、今さらと思うことも ているらしい。◆現在放映中の ウソをつかないことを庭訓とし まわり」の舞台である南田家も NHK朝の連続テレビ小説「ひ 出 日本人はその癖を持っ かれてきた。殊のほか ウソをついてきた。ま たたくさんのウソもつ 小生も今までに多くの の動物である。生き物 などといわれてきた。 つきは泥棒の始まり ようである。かくいう の中で一番ウソつきの ◆昔から「嘘(ウソ) しかし人間はウソつき



法華宗陣門流総本山本成寺山門 (修復後)

同

大聖人に対する信仰心・御報

が致しますが、本宗の僧侶、檀信徒

自分の事のみを申し述べた如き感

を以

牧野琢成宗務総長

お願い

ぜひお寄せ下さい。

を単位とした布教・教化も人後にお 恩の心は強固でありますし、各寺院 ちるものではないと確信して居りま て行くこと

> が高祖日蓮大聖人は「正直に方 ないだろう。なぜならば、我ら

しかし決して望ましいことでは に利用する便宜の手段をいう。

を切にお願いします。本紙に対 「門連だより」の継続発展のたる

の各地のご協力 る感想要望な

「日蓮聖人門連だより」

集委員会一同

されているではないか。今一度

諦即一心に顕れ、其の人所住の 若・解脱の三徳と転じ、三観三 煩悩・業・苦の三道は法身・般 南無妙法蓮華経と唱うる人は、 便を捨てて、但法華経を信じ、

処は常寂光土なり…」とご指南

83

枕詞を使う程の喜びがある。しかも、 るから、「幸いなことに」とわざわざ

H

へご真蹟 護持を願う

一、ご真蹟を護持する意義

中で、ひときわ高く日蓮聖人のお姿 が、光り輝きながら姿を現す。その のために身を挺した数多くの名僧 日本の仏教史をひもとくと、伝道

日蓮聖人について語る時、最も注

ばである。巻子本や軸装の形で伝来 度に、深く心を痛めることがしばし

りが大切で、外気の影響を受けにく 最良とされている。 しかし、箱の造

目されるべきことの一つに、聖人み 日に伝わっていることは、誠に瞳目 多の書を著し、しかもその多くが今 ように、法華経を広めるための激し つけ、注釈を施して後世に伝えた僧 ずから筆をとって認められた実に多 もまた多い。けれども、日蓮聖人の くいる。数多の経典を読んで訓点を いて、大部の書を著した僧侶は数多 ている点がある。万巻の書をひもと 様な書が、驚くほど大量に伝えられ い伝道を続けながら、その折々に数 するご真蹟は、長い間の不適切な取

は、本来はすべてご真蹟であったは がいつも拝読している聖人のご文章 ことである。考えてみれば、私たち いるのは、これら聖人の直筆全体の 命といっても過言ではなかろう。 の私たちに課せられた最も大きい使 を確実に後世に伝えることが、現在

共に、寺宝に痛みや紛失したものが ことである。本堂や書院・庫裏など 法は、毎年一度、湿度が低く乾燥し る寺宝を広げて清らかな風を通すと 広く寺院で行われてきた伝統的な方 ご真蹟を確実に護持するために、 「虫干し」を実施する

華経」であるように、日蓮聖人と私

たちを確実につなぐのはご真蹟であ

と現世の衆生を結びつけるのが「法

研究生活である。久遠の釈迦牟尼仏 真で拝読し続けるのが、私の日常の 用いることにする。

幸いなことに、ご真蹟を現物や写

日蓮聖人の場合はとくにこの名称を 他にもいろいろと呼び名があるが、 るものを、とくに「ご真蹟」と呼ぶ

運聖人の直筆の部分が確実に現存す 姿を消してしまった。このため、日 紛失してしまったりして、ずいぶん

ことにしている。「ご真蹟」は、この

害で失われてしまったり、一部分が

ずである。けれども七百年という長

年月のうちに、その一巻全部が災

常々「ご真蹟」と呼んで神聖視して すべき事実である。 日蓮聖人の法灯を継ぐ私たちが、 な状態で、修理も二の次三の次にさ も手を加えずにおいたために、限界 例を除いては、ほとんどがこのよう 態になっている。最近修理された数 が来てしまってどうにもならない状 と共に弱くなってしまった紙本を、 態にあることが誠に多いからであ 扱いと保存によって、憂慮すべき状 れているのが現状であろう。ご真蹟 力した跡が見られるが、もう何百年 大事に表装して後世に伝えようと努 る。ご真蹟の大半には、歳月の経過

二、「虫干し」のすすめ

のではなく、どことなく忍び寄って という有様である。 しならない状況に追い込まれている くるので、気がついた時には抜き差 ある。しかもこれらの害は急激なも 想像以上の実害を引き起こす恐れが どの文化財は、虫害や水損によって るから、紙に書かれた文書や典籍な も多い。日本の風土は高温多湿であ たご真蹟を、確実に後世に伝えるた 七百年以上の歳月を超えて伝わっ 解決すべき問題があまりに

損というような人為的な不祥事であ る。とくに見張りを立てるというの 門下全ての法財であるからである。 この行事の中で十分に注意を払わ

されてきたのは、このような感激が 蹟が、長い歴史を通じて現代に相続 りと聞こえてくるようである。ご真 で、日蓮聖人の息づかいまではっき

る。日蓮宗でも、 から詳しく教えてもらうべきであ 扱い方や護持の仕方などを経師の方 の修理を完了した場合には、その取 参加して習熟すべきであるし、寺宝 などで講習会がある時にはぜひとも 述べつくせるものではない。博物館 けようとするには、実際に手を取っ むづかしく、これらを厳密に身につ 求される。巻子本の取扱いも意外に 扱いには十分な注意を払うことが必 て習うことが必要で、とても文章で を用いて静かに作業を行うことが要 ては、広げる時も納める時も、矢筈 てはならない。とくに軸装本につい 要で、けっしてこれを不用意に扱っ 布教のためにも、 とんど行われなくなってしまった。 虫干しを行う時にも、ご宝物の取 取扱い方について ぜひとも復活すべ

あると損傷の危険が生まれるので、 寺一個人のものではなく、日蓮聖人 戒めなくてはならない。寺宝は一カ 視して公開を強行することは、 くべきで、自家の都合で悪条件を無 ついては、専門家の判断を十分に聞 であろう。寺宝の現在にみる状態に ないように掲げることを中止すべき 壊れたものは、傷がこれ以上進行し 注意する。また紐が切れたり表装が って紫外線の影響を受けないように 度に調整し、太陽光線が直接に当た 襖や屛風などによってほんの微風程 寺宝を虫干しする場合、強い風が

三、ご真蹟の修理を考える

された修理についての記事(修理銘) とである。ご宝物の奥書や紙背に記 は、三百年も昔の江戸時代初期のこ 蹟をはじめとする寺宝を修理したの には、十六世紀から十七世紀にかけ 使命感と豊かな財力をもって、ご真 日蓮聖人門下の諸教団が、大きな ところが、親しくご真蹟に接する

立正大学教授

中尾

堯文

数カ寺の例外を除いては、なぜかほ れた箱や長持も、きれいに掃除した われていたことであるが、 てしまう。つい先年まで各本山で行 上で陰干しして虫や水分を追い払っ

が立てられているようである。 の講習会を、しばしば実施する方針 い頑丈な構造のものが要求され、

統を踏まえながらしっかりと打ち立 ご真蹟を護持するための方策を、 命脈を保ち、今日まで立派に伝えら 宝の護持に、決してよい影響を与え てなくてはならないのである。 力があってのことである。今こそ、 れてきたのは、先人の並々ならぬ努 これらの文化財が長い歴史を超えて るものではない。にもかかわらず、 真蹟をはじめとする紙に書かれた寺 高温多湿の日本の気候条件は、

聖人門下の諸教団の枠を越え、協力 誠に時宜を得た快挙に外ならない。 の護持」を強く打ち出されることは、 この意義深い年を記念して「ご真蹟 年で立教開宗七百五十年を迎える。 して「ご真蹟の護持」の方策を立て 日蓮聖人門下の諸教団は、あと数

籠」と同じ形の蓋をもつ、いわゆる

「印籠箱」が最適で、材質は桐材が

いてみれば、時代劇によく現れる「印

ば保存に適切とはいえない。箱につ のであるが、この箱が不完全であれ

糞などがないように、きれいに掃除 れを軽視することは許されない。そ しておかなくてはならない。とくに 大型のものが望まれる。 に、内容物がゆったりと入るような を出し入れする時に余裕があるよう の箱を納める「長持」は、中のもの 箱や長持の中には、ホコリや虫の

の結晶が寺宝を汚して台なしにして なる薬品が化学反応を起こして、そ ていると、入れ替えの時に品種の異 り除いておく必要がある。 しまう恐れがあるので、きれいに取 がホコリの中にひそんでいる恐れが 虫については、ちょっと見ただけで ある。殺虫剤が箱の角にコビリつい は発見できないような、微小なもの

費用をかけて修理した寺宝は、理に ご真蹟の修理について「日本装潢(そ に伝えなくてはならないし、それは かなった護持の仕方で、大事に後世 て害をもたらすことになる。莫大な 後の扱いが間違っていると、かえっ 導を行っているので、必ず相談 や自治体の文化財保護担当部署で 紹介しているし、各地の公立博物館 うこう)師連盟」に所属する経師屋を 然として現れる。日蓮宗宗務院では、 つにしたがって経費節約の結果が歴 どんなに立派に見えても、時間がた てしまうと、出来上がった時点では 理を立派に施さなくてはならない。 他にかけがえのない聖物であるか にもかかわらずこれを安直に修理し ら、いわば国宝や重要文化財級の修 した上で実施することが要請される。 せっかく修理したご宝物も、その 責任をもって修理についての指

り返しのつかない状況になることは ない。もし不祥事が起こったら、取 が起こらないようにしなくてはなら をしっかりと把握して、絶対に事故 の説明をしながら、会場全体の様子 要があろうが、参詣の人々にご宝物 虫干しが終わると元の箱に仕舞う の限度に来ているのが大半である。 装もずいぶん弱くなっていて、保存 ので、ご真蹟そのものも施された表 たって修理を加えないまま伝来した る。このように驚くほど長期間にわ

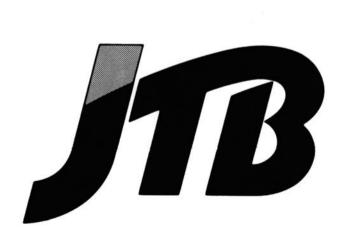
切れてしまってかけられなくなった ことも原因であろう。軸装のひもが 目も痛ましいほど傷ついてしまった 費の不足があるようであるが、ご真 なったことを先に指摘した。その理 が、近年になってあまり見られなく 広く行われていた寺宝の虫干し行事 くこれを修理しなくてはならない。 とであるが、こうなったら一日も早 亀裂が走っていたりする。残念なこ 蹟をはじめとする多くの寺宝が見る 由のひとつには、寺院での人手や経 日蓮聖人門下の諸寺院で、かつて ひどいのは表装がはがれ本紙に

日蓮聖人の門下にとって、ご真蹟は 門下の僧侶としての大事な責務に外 出費を覚悟する必要がある。しかし れを本格的に修理するには、高額の 軸装にしても巻子本にしても、こ

|立教開宗750年| 旅、こころ

パッケージツアーはもちろん、お客様のニーズにお応えしたオーダーメイドの旅まで、 旅のことならなんでもそろっています。 私たちは、旅する人の心を大切に、もっと楽しい旅をお届けします。

旅する人の気持ちで・・・・・JTB



For Your TraveLife

素敵な「旅」をご提案します。

日本交通公社 運輸大臣登錄一般旅行業第64号 🖨 ₹

170

FAX ○三(三九一八) 電 話 ○三(三九一〇)

九一八)七 九 九 四九一○)四七五五代 大塚一一二六一四

₹ 602

FAX ○七五(四六四) 五 五 六 電 話 ○七五(四六一) 一 一 六 京都市上京区御前通一条上ル東竪町一

九六番地

∓ 602

電話 〇七五(四五一) 三 五 二 七妙 蓮 寺 内 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五

日本山妙法寺事務局天鼓出版発行編集人

松

〇七五(四五) 寺 内

教 庶

部 部

化

部

長 長 長 長 長

財 教

原井 桃井

祈

立教開宗七五〇年

宗

総

長

社

顕本法華宗宗務院

日蓮本宗宗務院

奉讚円成

日蓮聖人門下連合会



日蓮宗宗務院

法華宗(陣門流)宗務

院

法華宗(真門流)宗務庁

長

真枝

田中

庶 宗務副総長 務 部 部 総 長 栗原 渡辺 岩間 永井 光喩 清明 湛正 祥文 正震

務

部

長

齋藤

146

FAX ○三(三七五一)七一八六電話 ○三(三七五一)七一八一代東京都大田区池上一一三二一一五 邦昭 日淳 日蓮宗新聞社社長 国際開教室長 現代宗教研究所長 人権対策室長 5 与 三 浅 坂 井 堀江 上田 大乗 石川 恵 玄 宏 文 尚 人 裕 正 延 正

浩 貫 光 徳 厚 雄

₹ 170 総務部長 化 学 務総長 務部長 部長 部 長 長 都築 牧野 土屋 竹嶋

善敬

琢成

日

哲信

化部

長

渓谷

部

長

田

常

学部長 務部長 務総長

辻本

寛孝 邦雅

堀内 上田

FAX ○三(三五七六)○一二一電 話 ○三(三九一八)七二九○東京都豊島区巣鴨五―三五―六 泉京都豊島区巣鴨五―三五―六 江坂 金原 隆俊 戒雄

> ₹ 602

FAX ○七五(四四一) 五 六 電 話 ○七五(四四一) 五 七 京都市上京区智恵院通り五辻上り

六六六二六

宗 庶 教 布 社 務 務 部 部 部 部 次 長 長 長 長 長 島川小早田田崎島川島 606 藤山吉崎田永 FAX ○七五(七九一)七二六七電話○七五(七九一)七一七一京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 幸英顕義敏広信日晴宗明正義学正晴 主

庶 務 会 部 部 長 長 津村 島田 阿曽 湯原 JII 小松 崎 純勇 正学 久成

∓ 606

FAX ○七五(七七一) 五 九 一 四 電 話 ○七五(七七一) 三 三 九 ○ 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八

財 務 務 部 長 長 高橋

教総 宗 学務 務 部部 総 長長 長 長 嘉儀 柳 原 下 日

義眞 寛承 智明 真昭

宗教法人 国 柱

事 長 長 田

理 事 長 三田 大橋 入江 邦正 道弘 克郎 香浦

有

会

中

本部事務局長 田 中

FAX ○三(三六五六) 九 九電 話 ○三(三六五六) 七一 一東京都江戸川区一之江六一一九-八一 〇代八

∓ 132

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 長 佐藤 金山 嘉儀 智明 日 日 龍 有

理 事 長 杉若 恵隆

FAX ○七五(七七一) 五 九 一 四 電 話 ○七五(七七一) 三 三 九 ○ 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八要法寺内

〒666 京都市左京門連事務局

日本山妙法寺

法華宗(本門流)宗務院

本門佛立宗宗務本庁

本門法華宗宗務院

宗

長

川和口田

部 総

三浦

宗務総長

田山

H

司昌誠裔慶

佐 笹 小 梶

政 日

務部

務部長

音羽

持地

務部

増田 信隆 高辺

務部長 務総長

允忠

信幸

務部長

藤井

隆通宏隆全雄長雄

宗務本庁役員一

同

萼

本

日

顕晋慈成日日 導城鳳雄唱攝

座 上 野 行

首

₹ 542

電話 〇六 (二六一) 三二二六大阪市中央区南船場——三—十一 行

会会誌発行編集人日印サルボダヤ交友 東京都千代田区九段北三一二一二三 老 今 石 井 山 行 善 邦 順

85



祈·立教開宗七五〇年 奉讃円成

日蓮宗総本山 身延山久遠寺	法華宗(真門流)総本山 本隆寺	出家得度之霊地立教開宗	経
法 主岩 間 日 勇	賃 首真 枝 日 世	日蓮宗大本山 清澄 一寺	国富县田浦
** ** ** ** ** * * * * * * * * * * * *	執事長岩 崎 峻 暉		井 智 観
役職員一同	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	別 当杉 山 日 慎	野田
FAX ○五五六六(二)一○九四電 話 ○五五六六(二)一○九四電 話 ○五五六六(二)一○一一 山梨県 南巨摩郡 身延町 身延	FAX ○七五(四四一) 五 六 六 六電 話 ○七五(四四一) 五 七 六 二〒600 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町	〒292-55 千葉県安房郡天津小湊町清澄	三(三四)三四三日 勝
日蓮宗大本山 池上本門寺	本門法華宗大本山 妙蓮寺	日蓮宗大本山 妙 顕 寺	日蓮宗本山 本 法 寺
章 首田 中 日 淳	執事長飯 田信 栄育 首吉 村 日 義	章山 田 一 光	名勝巴の庭本阿弥光悦作重文涅槃図長谷川等伯筆
	職員一	執事長原 光 司	章 章金 山 日 龍
〒146 東京都大田区池上一一一一電 話 ○三(三七五二)三三三二	電 話 ○七五(四五一) 三 五 二 七〒600 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙連寺前町八七五	〒602 京都市上京区寺ノ内堀川東入	電話 〇七五(四四一) 七 九 九 七一碗 京都府京都市上京区小川通寺ノ内上ル
'吉 満	日	勅諚にて京都に移遷の松葉ヶ谷草庵の霊跡日 蓮 宗 大 本 山 本 男 寺	田蓮宗本山 堀之内妙法寺やくよけ祖師
**************************************	執事柳下義 貞昭執事長佐藤智明	章 首久 村 諦 道	ョ #駒野教格
〇七五(七九一)七 二 六京都市左京区岩倉幡枝町中京都市左京区岩倉幡枝町中	〒602 京都市上京区小川通寺ノ内上ル本法寺前町六一七東 話 ○七五(四五一) 九 三 九 ○ 執 事 高 橋 寛 承	電話 〇七五(五九三)九一九一電話 〇七五(五九三)九一九一年 京都市山科区御陵大岩町六	電話 ○三(三三一三) 六 二 四 一電話 ○三(三三一三) 六 二 四 一 ※平成八年度随身生募集中
法華宗(陣門流)総本山 本 成 寺	本門佛立宗本山 有一清 一寺	日蓮宗大本山 北山 本門寺	日蓮宗本山 頂妙寺
朝事長真 保 行 宣章 首竹 嶋 日 香	生 職 井 上 日 慶	■ 首片 山 日 幹	
顕 良	唐徒総代 小 倉 徳治郎	執事長田 中慈 潮	合井腐陽照通
〒955 新潟県三条市西本成寺 一 一 一 一 之	電話の七五(四六三)四六二の代	〒48-01 静岡県富士宮市北山重須	分 大菊町

となってまず理事長推薦の件を諮り の後、開議、渡辺清明常任理事座長 理事会を開催。出席者全員自己紹介

全員一致、日蓮宗理事、永井祥文師

を理事長に推薦決定した。

永井理事長就任挨拶の後座長とな



身延祖 廟参詣 理事会開催さる

身延祖廟参詣、身延理事会が行われ 日蓮聖人門下連合会各派代表による 平成八年六月十七日(月)、恒例の 午後二時祖廟輪番奉仕所に参集し

導師の下御自我偈、唱題を棒げ、異 時言上往時の大聖人を偲び奉った。 を組み唱題の内にまず御草庵跡に法 た各派理事、常任理事の二十名は日 連宗永井祥文宗務総長を先頭に行列 体同心の誓いを新たにした。 下部ホテルに移動、午後三時より 祖廟に進んだ一行は永井祥文理事

平八・一・

重に企画を推進することが申しあわ 員の日蓮聖人展に関する東京博物館 表があったが、予算を伴う企画でも 側との交渉経緯を始め、企画内容に あり、尚常任理事会に諮りながら慎 に関しては、京都理事会以来専門委 立教開宗七百五十年慶讃記念事業 大橋理事、中尾堯文師より発

翌朝食後散会となった。 りなごやかに懇親会が行われ一泊、 滞りなく会議を終え、午後六時よ

田中諦常師 堀内邦雅師 上田浩岳師 岩崎峻暉師

法華宗真門流 法華宗真門流 法華宗真門流総長 法華宗真門流

常任理事

理事

理事

二二七

吉田勝秀師

法華宗真門流

常任理事

田島敏義師 藤崎広学師 杉若恵隆師 佐藤智明師 嘉儀日有師 岩崎峻暉師

顕本法華宗 顕本法華宗

理事 理事 京門連副理事長 京門連理事長

理事

常任理事

就就就任任任

京門連会長

京門連副理事長

理事

据置きとなっていた各派分担金八万 年度予算の件は昭和六十二年度から 度決算の件をそれぞれ承認、平成八 って議事進行。事業報告、平成七年

> 円を二万円値上げ、十万円とする事 期刊行、また七五○事業の企画調査 費二十万円など総額二、六四四、 を決定、機関誌「門連だより」の定 六六円の予算が承認された。 九

> > もすすめられる

会報告が杉若恵隆理事より報告され 宗鳳師より、京都日蓮聖人門下連合 聖人門下懇話会の活動報告が三田村 地方門連活動に関しては大阪日蓮 治精神の顕彰 説が飛びかって 平七:三:二 賢治ブーム 年月日

-	- 47		務	i	T	かい	T	n	L
杉若恵 隆師	田中 日淳師 日 時	氏	爲への	尽力し	ている。日	が巻き起り、	ている。		七の牛
隆 龍師	淳 勇師 師	名	- 務局への連絡日も含む)	いに尽力してきた人は	長年、宮沢	り、様々な論		松竹では映画制作	いとの年者を一二二二二二二二
京門連理事長	日蓮宗管長	宗	含む)	人は	沢賢	な論		制作	4
理会長	管長	"		0	な	活	童	訳	
長	K K	派		の三十七年の生涯は、「法華経に示さ	なっていることも知られてきた。	活動は、は	話作家・詩人となっ	出版されている。	野治の化占に ニー数フ国言に番
常 任 理	顧顧問	門連役職		千の生涯	ることも	純粋な法	・詩人と	れている	15
事		役職		は、	知ら	華経	なっ		-
- 13	就任	就任		法華経	れてき	純粋な法華経信仰が基盤に	た。	まさに世界的な	娄フ目
退 退任 任	退任	退任		に示さ	た。彼	基盤に	その創作	界的な	言い番

宮沢賢治生誕百年におもう

にとり上げテレビの特番やドラマ等 次ぎ書店には賢治をめぐる多数の本 催しがくりひろげられ話題をよんで が並べられている。マスコミも盛ん も度々放映され いる。雑誌の特集も多く、 郷の花巻市はじめ全国各地で多彩な 今年は、宮沢賢治生誕百年で、 出版も相

賢治の作品は、二十数カ国語に翻

ていう生易しいものじゃないね。も ぱいいますから……」と言っている。 治景気にあやかっている方々がいっ う立派に賢治産業がなりたって、賢 と歎き、またある人は「ブームなん 「賢治先生は戸惑い悲しんでいる」

えにもくちんいのちなりみのりに棄 てばうれしからまし」と、国訳法華 念であった。それは遺詠の「病のゆ 遺言したことでも明らかであろう。 経一千部を印刷して知人に贈るよう

れた広大な仏意を伝えたい」との

学師が唱導する純正日蓮主義・在家 対した高知尾智耀師から勧められた し、国柱会館を訪れるが、その折応 が、父と信仰上で対立して家出上京 仏教教団「国柱会」に入会した賢治 法華文学創作の契機となったエピ - ドもよく知られている。田中智

うちは個人の幸福はあり得ない」と 作にとりくんだのであった。 からで、賢治は猛烈な勢いで童話創 「世界ぜんたいが幸福にならない

聖人が色読実践された生きた法華経 単なる文上の法華経ではない、日蓮 によってのみ実現されるのである。 の幸福、皆成仏道であった。それは の願ったことは一切衆生のほんとう いう賢治の有名な言葉があるが、 田中智学師が日蓮教学を組織大系

の講義録が『日蓮主義教学大観』と 化した「本化妙宗式目」(五大門、 深い領解が賢治にあったことは間違 いないと思う。 も読んだという。本化別頭の教義の して発刊されているが、賢治は五度 六段、八十科一千余条)がある。そ 賢治の活動は、深い領解と信仰修

を知ろうとしても、賢治が不惜身命 慈大悲、本化上行日蓮聖人のみ教え 進することが、賢治が本当によろこ 信仰した正しい宗教がわからなけれ のお取次ぎであったのである。賢治 行から発したものであり、本仏の大 は、所詮ははかない夢である。 日蓮聖人の願業成就をめざして邁

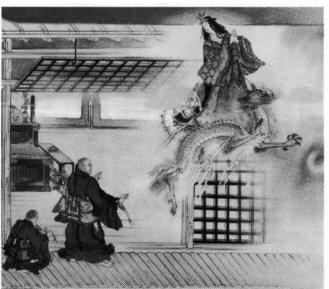
顕正」勇猛精進していきたい。 という賢治の言葉を銘肝して「破邪 ぶ道であろう。 「求道すでに道なり」 宮沢賢治生誕百年記念の集い

務次長「藤崎光学」は「広学」の誤 りでした。お詫びして訂正致します。 ▼第13号三面、顕本法華宗宗務院宗

(問合せ 〇三・三六五六・七一一二)

国柱会本部

立教開宗750に向け完成



日蓮 本山 身延山久遠 教直雄斎 小池 寺

蔵

■体裁•内容

B4判変型/布装上製本/貼 箱入り/保護函入り豪華本 オールカラー総214ページ (図版・詞書・縁起・解説・ 訳文付)

定価20,000円

スーパーアニメーションビデオ

門下連合会 祖廟参詣 身延理事会 (平成8年6月17日)

日時 主催

8月18日午後1時半 記念の集い実行委員会

全3

●第1巻〈好評発売中!/>

真理の研鑚 -立正安国を叫ぶ



原作/石川教張著「日蓮聖人の生涯」

VHS 60分 頒価 15,000円

ご注文は

日蓮宗新聞社 〒146 東京都大田区池上7-23-3 TEL 03-3755-5271他 FAX 03-3753-7028

総本山妙満寺宗務院にて開催され、 ■3月7~8日第五○回定期宗会 開祖日什大正師御開山会を奉修。

顕本法華宗

□2月28日、総 本山妙満寺にて



京都門下連合会

寺執事長佐藤智明師、副理事長-日 師に決定する。 運宗京都府第一部宗務所長杉若恵隆 寺金山日龍貫首、 首嘉儀日有猊下、 副会長—本山本法 本山要法寺貫

度決算報告・平成8年度会務事業計 ■2月16日総会・降誕会。於大本山 総会の件・平成8年度降誕会の件。 画・平成8年度予算案・平成8年度 ▶1月25日理事会。於ルピノ京都堀 平成8年度役員確認・平成7年

寺貫首和田日攝猊下、 妙顕寺貫首山田一光猊下、おうどん の件。降誕会―大導師は大本山本能 薬計画の件・平成8年度予算案承認 及決算承認の件・平成8年度会務事 - 年度会務報告承認の件・平成7年 能寺。平成8年度役員紹介・平成 法話は大本山

専門科それぞれの講座が開かれ、 林講堂において春季学林開講、本科 ■4月8日より4月27日まで真門学 弟の講習会(僧風林)を実施した。 法華宗真門流

本能寺会館に於いて夏期大学、11月 27日本山要法寺に於いて御会式があ

□尚、今後の予定として、8月26日

天台宗滋賀院を拝観する。

宗京都府第一部協議員会議長田中宏 法寺貫首嘉儀日有猊下、法話は日蓮 講堂に於いて奉行、大導師は本山要

法要後、横川定光院を参詣

■4月11日より三日間総本山本隆寺 において例年の通り、 千部会、 開

平成7年度事業、決算等の承認とと の整備改正がなされた。 ○年記念事業、瓦募金についての報 可決承認された。また立教開宗七五 もに平成8年度事業計画、予算等が 学林規程等の修業制度について

総本山妙満寺にて開講。 ■4月1日より一年間妙塔大学林を

□7月22~25日顕本少年錬成会が総 に会し、 例の春季報恩大法要が、吉永日晴猊 珍清姫の鐘」鐘供養等が盛大に厳修 ■5月11~12日総本山妙満寺では恒 され、また本年は阪神淡路大震災第 ト大導師のもと、全国の僧俗が一堂 周忌追悼法要が厳修された。 先師報恩並びに霊宝の「安

■8月25日~9月8日の一五日間総 本山妙満寺にて妙塔檀林を開講。 (大森俊栄)

を待つばかりとなっている。 内装工事の段階となり7月末の完工 築工事も順調に進捗して、現在では 所・庫裏等を解体し、その同所の新 修復に続いて、客殿・大書院・対面 並びに開山堂大屋根葺き替え等全面 記念事業の一環として、さきに本堂 蓮本宗 △御開山日尊上 人第六五〇遠忌

□平成8年5月8日の御開山日尊上 備を進めているところである。 っており、法要委員会を組織して準 落成慶讃大法要を奉修することとな □来る10月13日の日蓮大聖人御大会 式御正当の日に、本堂並びに開山堂 大書院・対面所・庫裏・方丈棟等の 大屋根修復と、今回新営中の客殿・

徒が参拝した。また第二座において 初転法輪の儀も執り行われ、新たな を主体として、多数の全国末寺檀信 た。当日は本山要法寺護持会分会長 る教師が誕生した。 末寺教師の大半が出仕して奉修され 人第六五二年御正当御報恩法要は、 □3月25日より (柳下正則) 院

□4月26日開宗会。法要—比叡山大

開宗会の件・夏期大学の件。 □3月8日理事会。於大本山本能寺

林生一同熱心に受講し春季学林を閉 三日間、寺院子 学 殉難会 (インド大使館)。

同22日、アンパーラ宝塔七周年法要。 ■2月15日、ワルダ宝塔三周年法要。 パンダラウエラ宝塔

信仰増進に寄与した。 三〇〇遠忌に当り、4月12日午後3 はじめ近辺の由緒寺院を参拝して、 身延山参拝団を実施。身延山諸堂を 奈良地区/所長田仲良啓師)では、 ■5月10日第一教区(京都・大阪 時より、特別追福法要を厳修した。

て、 昨年の阪神淡路大震災犠牲者六千三 石川地区/所長遠藤昭栄師)では、 □5月21日第二教区護法会(福井 おいて約壱千本の水塔婆を供養し 中央区妙覚寺(住職井上隆宏師) 百有餘の霊を慰める為、現地神戸市 慰霊法要を厳修した。

第十二回真門教学講習会開催。伝灯 題して講義された。 貌下「真門教学の特色について」と 治の風景管見」、宗学研究所長林日圓 録編纂委員長藤井文英上人「宗門明 ■6月21日総本山本隆寺において、 ■2月3日総本 (堀内浩善)

大雪もやみ、例年通り多くの参詣者 に見舞われ、節分法要当日の出足が た。新潟県は今年、例年にない大雪 でにぎわった。 心配されたが、前日まで降り続いた 嶋日香猊下の導師のもとに厳修され 「節分会鬼踊り追儺式」が貫首竹

年の合同事業について。5。その他 □5月20日~21日、平成8年度三宗 下連合会について。4。開宗七五〇 カレンダーの発行について。3。門 東・霊跡別院蓮着寺を会場として開 任委員・信徒代表・事務局員など七 催された。協議事項は、1。統合学 が法華宗陣門流当番宗のもとに、伊 讃会合同会議」が、総裁・顧問・常 統合協議会(顕本・真門流・陣門流) ○名が集まり開催された。 (学生)講座について。2。聖訓

恩会熱海道場。同30日、ガンディー 同9日、藤井日達猊下第一一回忌報 等である。 日本山妙法寺 □1月1日、新 年宮城御祈念。 (今井満良)

東北·佐々木正隆 東京·福島典雄 千葉·平田義範

忌等が厳修された。当山の千部会は 皇室と縁由深く、本年は明正天皇の

法華宗陣門流 山本成寺に於い

いて「総本山本成寺開創七〇〇年奉 ■4月23日総本山本成寺寂光殿に於

始されることになった。重要文化財 □大本山妙蓮寺では、飯田信栄執事 指定を想定のもと行なわれる。 いて、文化庁による本格的調査が開 に発見された約四千巻の一切経につ

て次の者が就任。 所長が改選され、 法華宗本門流 が開かれている。 4月1日付をもっ り全国教区宗務 □任期満了によ (木村光正)

会

長お手製の万葉粥を賞味する「朝粥

北海道·上西康公 (秋田県壽慶寺) (台東区感応寺) (長生村本興寺) (斜里町本行寺) ■3月1日、ビキニデー平和祈念行 法要(熱海道場)。 年法要。同25日、 行阿院様六七回忌

発進三週間各地巡礼。清澄山立教開 長崎向け平和行脚発進。 宗会参列後、原水爆禁止平和島焼津 ■4月28日は、ミャンマー平和巡礼 仏式。ポカラ道場開堂供養。同23日、 ラ道場、御祖師様御師匠様御尊像入 脚。焼津着。同4日、ネパー インド平和行脚はデリー到着す。

ず擱筆致します。 って、割当て三枚では到底書き切れ の勇猛精進ぶりは感嘆すべきもの有 フィリピン行進、台湾行進あり、ア ンド各地巡錫、ベトナム巡礼あり、 り東洋各地を巡錫、広島へ向う。 ぞれの危険を乗り越えヨーロッパよ 和行脚は各宗合同で各国各地を分散 ■アウシュビッツ→広島長崎向け平 ィアンのマラソン走行団ありで、そ メリカ大陸行進団、アメリカインデ 本門法華宗 昨年10月又は12月8日等それ □平成8年3月 (石山善邦)

靖国神社に芸術奉納。□4月7日、

4月3日、

国性文芸会有志により

ざめよう」特集で施本運動を展開。 刊六〇八四号)は「正しい宗教にめ

決算が承認された。同時に、平成14 華宗管長の留任がそれぞれ承認され 首、平成8年9月15日よりの本門法 8年6月25日より大本山妙蓮寺貫 た。また現管長吉村日義猊下の平成 奉讃会の規程が上程され、承認され 年の聖年に向け、立教開宗七五〇年 五〇遠忌の記念事業特別会計の会計 山妙蓮寺開創七〇〇年、日像菩薩六 で、昭和63年より開始された、大本 25日開催の宗会

□大本山妙蓮寺において、平成5年

ランカ仏足山宝塔 四国·釋

本興寺―5月6~8日。 7~9日、本能寺―5月5~7日、 長寺―4月4~6日、鷲山寺― 日、平成8年度宗務所長会は5月28 ■第四五次定期宗会は5月23~25

会議員が満票にて選出される。 寛宗務総長辞任に伴い第七五臨時宗 四定期宗会開催。 会を開催、新宗務総長に永井祥文宗 蓮 4月3日、奥邨正 5日~8日第七 □平成8年3月

伊藤理事長に一校分の資金が手渡さ 通理事長)との連携で実施、当面十 BAC(仏教救済センター=伊藤佳 校をめざすことになった。4月18日 に小学校の校舎建設の推進を決定。 オス教育援助を進めてきたが、さら

□天台大師一四○○年大遠忌の年に 学寮○Bなど四○人が出席した。 根本中堂で日蓮宗は宗門法要として あたる本年、 の日蓮宗宗立熊谷学寮で4月21日 **・鐘棲落慶並梵鐘撞初式」が行われ** 10月15日比叡山延暦寺

深澤泉奥

演奏。たいへん楽しい会になりま

した。音楽効果、というものでし

曲をシンセサイザーとサックスで 治の作詩作曲「星めぐり」など六 講演は「雨ニモマケズ手帳におけ が開かれ、三十人が集いました。 あたる、宮沢賢治の講演と演奏会

る法華経思想について」、そして賢

両師が就任(4月1日)。 中国·山上観龍 淡路·松井正 兵庫·有原仁龍 大阪·伊藤 寛 京都·吉本諦良 局員に芹澤日耀・岡村日祥 (高松市大本寺) (山科区護国寺 (伊丹市妙宣寺) (中央区妙法寺)

> たび護法伝道部より発行された。 リングの理念と資料・97頁)がこの

(富川孝恭)

玉

柱

会

仰会が発足。 □妙宗大霊廟讃 □「宗教カルトの元メンバーに対す 奉行に関する会議が行われた。 於て奉行委員会結成がなされ、法要

るケア活動のために」(脱会カウンセ

引き続き完全復興に向け協力奉仕態 円。日赤・兵庫県及び宗内被災寺院 に分配。今後は教化部所管として、 金総額は金一一〇、七二八、〇九三 大震災災害対策本部」を解散。義援 ■3月31日付をもって「阪神・淡路

仕。△機関誌

央連合協議 長)を新設。

会で武蔵野御陵清掃奉

3 2

『真世界』 4月号(通

■3月7日、国柱会中

青年活動推進委員会(井上宝護委員

『正しい宗教Q&A』勉強会開会(毎 例月供養会後、国柱会本部)。↓

茶の水・H東京ガーデンパレス。 29日開催。会場はいづれも東京お

日、本部で日蓮主義教学の発展のた

詣、山頂で報恩集会。 ■4月3~4

会慶讃法要厳 登詣団。1日 開催。 ▲4月 恒例の申孝園

目、大祖廟参拝、立正 28~29日、第66回身延 桜まつりをにぎやかに

本 顕 日 門 本 選 立 葉 宗 宗

法華宗本門流

●加盟団体

8 7 6 5

その他

対外的な各種の運動 海外布教の提携及び交流

法華宗真門流

本門法華宗

日本山妙法寺

修。2日目、思親閣登

■4月22日~24日、平成8年度全国

意見広告を掲載。

□7月14日に、

(秋場善彌)

ットワーク準備会」で産経新聞等に 動の主体となっている「昭和の日ネ に改める署名運動を継続展開中。運 義。□「みどりの日」を「昭和の日」 めの課題を学ぶ会。田中香浦会長講

宗務所長会議を開催。同28日、千葉 母日蓮宗では国際協力募金によるラ 厳修された。 導師のもと第七四四回立教開宗会が 県清澄寺に於て、田中日淳管長猊下

□埼玉県熊谷市立正大学熊谷校舎内 七〇〇年に向 21世

□審査局の異動により、局長に赤田 九州·小 崎 博 詮(竹田市円福寺) 北陸·二瓶 海照 (福山市本安寺) (一宮町万福寺) (富山市信行寺)

□各大本山の千部会大法要厳修。光

(矢吹慈英)

を、本山の御 主となって有緣の諸精霊のご回向 修される。この日併せて全信徒が弔 扇聖人の祥月ご命日法要開導会が奉 において、本門佛立宗開導の師・日 本門佛立 「宗門総回向 宗 しも営まれる。 宝前で言上させて頂く 京都本山宥清寺

その中、五つの基本改革項目をあげ である。今後二〇〇二年の立教開宗 ⑤今津佛立センターへの対応改善、 ③組織制度の改革、④財務の改革、 ると、①新弘通対策、②新弘通教育、 示書」として の基本方針が 進本部」が宗会で承認設置され、そ を目指して □宗内の弘通 質改善強化した佛立宗 かって、大いに自己改 作成報告公開された。 宗門改革特別委員会推 意欲活性化と体質政善 紀の弘通に備えるとの 「宗門改革実行計画提

同心の思いを持ちたいものです。

筆者の自坊で生誕百年に

大いに叫ばれた」との記録があり

と共に、「開宗記念大会ではそれが

され、門下統合の機運が生まれる

○は明治三十五年。この前年には

初めて門下各派合同の講習会が催

ます。合同の講習会なりを企画し異体

力を心からお願 ど、各聖のご協 い致します。 お送り頂くな 地のニュースを 届けします。各 *第十四号をお

京都門下連合会

を迎えますが、百年前の開宗六五 頭に開宗七五〇 *二十一世紀初

を目的とする。 ため、祖廟を中心として門下各派 め、左の事業を行う。 本会は前条の目的を達成するた 連絡、協力、団結を強化すること 及び教団並びに地方門下連合会の 本会は日蓮聖人の理想を実現する 各種出版物の刊行 懇談会・研究会・講演会等の開催 布教の連合強化 教育事業の提携 祖廟護持の組織強化

日蓮聖人門下連合会